

審 査 決 定 報 告 書

文教福祉委員会

令和2年第2回水戸市議会臨時会において当委員会に付託されました議案第122号の審査の経過並びに結果について、水戸市議会会議規則第101条の規定に基づき報告します。

本案については、本日、委員会を開催し、慎重に審査を行いました。その結果は、下記のとおりであります。

以下、審査の概要を申し上げますと、

- 1 議案第122号 令和2年度水戸市一般会計補正予算(第4号)中別表中歳出中第3款(民生費)、第4款(衛生費)中文教福祉委員会所管分及び第10款(教育費)中文教福祉委員会所管分

本案については、第3款民生費では、ひとり親世帯臨時特別給付金に係る経費の内訳、障害者就労支援事業所支援に係る対象施設数、補助対象経費、高齢者福祉施設改修支援事業のスケジュール見込み、補助率、具体的な個室化の方法、個室化に伴う料金体系の在り方等について、種々質疑応答を重ねた後、委員から、「障害者就労支援事業所支援制度が十分に活用されるよう、各事業者に対し補助要件等の丁寧な周知に努められたい」、「今後の市内の高齢者福祉施設における個室、多床室の在り方について、十分に精査されたい」等の意見が出されました。

次に、第4款衛生費では、地域検査センターにおける検査体制及び検査方法、検査を民間機関で実施する理由、保健所や公的病院等を含めた今後の検査体制、妊婦に対するPCR検査費用の補助対象期間、受検方法及び時期等について、種々質疑応答を重ねました。

次に、第10款教育費では、タブレット端末の整備スケジュール、確保見込み、運用方法及び管理体制、貸与モバイルルーターの購入台数の根拠、タブレット端末を自宅で使用する際の通信費の負担、GIGAスクールサポーターの役割、求められる能力及び人材確保策、ICT支援員の役割、これまでに洋式化した小中学校トイレの一部において蓋を設置していない理由及び今後の整備方針等について、種々質疑応答を重ねた後、委員から、「市内学校間におけるICT教育格差が生じぬよう、教員に対するICT研修を着実にを行うなど、適切な進行管理に努められたい」、「一人一台端末の早期整備に向け事業を推進されたい」、「小中学校学習支援及び感染症対策に係る物品調達に当たっては、地域経済の活性化にも十分配慮しながら執行されたい」等の意見が出されました。

この後、採決の結果、全会一致をもって、原案を可決すべきものと決定いたしました。

記

議案第122号中別表中歳出中第3款，第4款中文教福祉委員会所管分及び第10款中文教福祉委員会所管分
原案を認める。

上記のとおり報告する。

令和2年7月15日

水戸市議会議長 安 藏 栄 様

文教福祉委員会
委員長 鈴木 宣 子